

昭和こじょう会便り

51号

2008年 3月号



発行：名古屋市高年大学続城会・昭和続城会

・・・目次・・・

表紙	(写真) 上野天満宮	ページ	10	自由寄稿
ページ	2	道真公と天満宮	11	学区便り
〃	3	51号発行にあたって	12	ボランティア
〃	4	退任にあたって	13	〃
〃	5	活動報告	14	クラブ便り
〃	6	4月～6月行事予定	15	〃
〃	7	活動レポート	16	昭和区俳句紀行
〃	8	〃	17	俳句・短歌
〃	9	〃	18	ニュース・編集後記



道真公と天満宮



1100年前、菅原道真公が九州大宰府で亡くなり、その墓所の上に大宰府天満宮が建立された。その100年程後、同様に京から追われた陰陽学者の安倍晴明一族の一部が千種区の清明山に住み、自らの境遇と照らし、道真公の心情に思いを致してそこに天満宮を建立した。江戸時代になって矢田川の氾濫を避けて現在地に移設され上野天満宮となる。

道真公の死後、その怨霊で天変地異や公を陥れた者の怪死などがあつた。その後冤罪がそそがれ、名誉を回復(朝廷から左遷の証書の破棄及び正一位太政大臣の追贈が)されたこと、あるいは安倍一族も後にその罪を解かれたことなどから、災いを除き福を招く『除災招福の神』として崇められるようになった。また、道真公の家系は代々文章博士となった学者の家柄ということから学問の神様としても崇められ、受験シーズンには大いに賑わう。

なお道真公を天神様と称するのは、死後の公に贈られた神号が「天満(ソラミツ)自在天神」から天神様(一つには公の崇りだと恐れられた雷も意味する)、また天満宮の「天満」もここから来ている。

天満宮には牛の像があるが、これは道真公の生誕の日が乙丑の日に当たることや、公の遺体を運ぶ牛車がある地点でどうしても動かなくなり、公の意思の現われであるとしてその地に埋葬し、後に、そこに大宰府天満宮が建立される。このことから、牛が公の使いであるとされたこと、ひいては牛を神の使いとしたことによる。この牛像の頭を撫でると賢くなるとか体の悪いところを撫でると良くなると言われている。



また天満宮のシンボルとして梅が付きものだが、これは道真公が五歳の時「美しや紅の色なる梅の花 あこが顔にもつきたくぞある」と詠んで人びとを驚嘆させたこと、大宰府への左遷が決まり、失意のうちに京の自宅の梅を見て「東風吹かば匂ひおこせよ梅の花 あるじなしとて春な忘れそ」と詠んだこと、さらに公の自宅の梅が公を慕って遠く大宰府まで飛んだという「飛び梅伝説」もあり、梅と道真公が深く関わっていることによる。

名古屋市には上野天満宮の他、北区に山田天満宮、中区に桜天神社、緑区に有松天満宮がある。

51号発行にあたって

昭和鯨城会副会長 20期（福祉） 長谷川 勝美



昭和鯨城会の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成20年は、地球温暖化、原油高など、さらには昨年来の年金問題や食の偽装問題で明け、社会的・経済的には必ずしも明るいものではありません。

昭和鯨城会の会員の皆様におかれましては、昭和区会の良き伝統の中で生まれ、会員相互の親睦のみならず、高年大学で学び得た知識、技術、ボランティア活動等を通じて地域の方々との交流を深め、昭和区民の一員として楽しみながら、快適な住みよい、そして心の通い合う明るい町づくりに活躍されておられることと思います。

さて、20年度の昭和鯨城会は、新会員26名を迎え、230余名の会員の皆様とともに、20期・21期の新役員体制で運営してまいります。行事としての散策・見学により健康増進、会員相互の親睦を図り、区民まつりや福祉まつりに参加して区民との共生を目指すとともに、ゆめ緑道ごきそ、クリーンパートナー等社会奉仕活動の実践により地域社会に貢献できる事業をさらに継続推進致したく、会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

来る4月11日の年次総会で諮る、新役員の構成・事業計画を準備しております。

昭和鯨城会の発展のため、役員一同微力ながら頑張っておりますので、皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に、いろいろご指導いただいた19期の役員の皆様に、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

ゆめ緑道ごきそ 花壇 No.9

クリーンパートナー 御器所・荒畑間清掃



退任にあたって

昭和鯨城会会長 渡辺 信良



来る4月11日の年次総会において1年の任期を終え、会長を退任致します。

最初に計画致しました各行事はほぼ計画どおり遂行出来ました。これも一重に皆様方のご支援ご協力の賜物と感謝致しております。

顧りみますと、『昭和こじょう会便り』を年4回発行し、毎月の楽しい行事(散策・見学会)等皆様との懇親も深まりました。

また特に、土鈴を作り、皆様からの寄贈陶器を昭和区の区民まつり及び福祉まつりに出店し、多数の来場者がありまして活況を呈しました。お陰様でチャリティー販売も予想を大幅に上回り、無事閉幕することが出来ました。

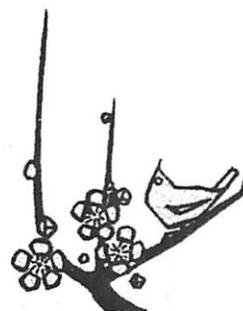
10月の趣味の作品展は、場所が区役所に替わりましてスペースが広くなり、出展作品数の心配をしましたが、皆様の積極的な出展がありまして、大変好評のうちに終えることが出来ました。

一方、ボランティア活動につきましては、毎月のクリーンパートナーは予定どおり作業を継続しております。ゆめ緑道ごきそ(花壇の世話)を今年度6月から始め、試行錯誤を重ねながら逐次進めております。その他タオル贈呈ボランティア、なごやかハウス福原の植木の剪定等、地域に貢献する活動も広がりつつあります。さらに役員会の中にボランティア委員会をつくり、新年度から新しいボランティア活動の具体化を検討する予定になっております。

会員の皆様がこのような企画に積極的に参加下さったことは、私として大変よい思い出になりました。在任中浅学非才な私がなんとか任務を果たすことが出来ましたことは、19期・20期の役員と、会員の皆様のご支援のお陰であり、心からお礼申し上げます。

来期の昭和鯨城会の運営は20期・21期の役員の皆様が担うことになります。何かとご苦勞も多いかと存じますが、明るく楽しい昭和鯨城会をめざしてご尽力下さいますよう、宜しく願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして退任の挨拶とさせていただきます。



活動報告

平成 20 年 1 月～3 月の主な活動と予定

* 会議

- 1月 9日(水) 役員会
- 1月 17日(木) 幹事会(酒井幹事)
- 1月 18日(金) 21期生区会説明会(鯨城学園)
- 1月 19日(土) ゆめ緑道会議(渡辺会長)
- 1月 21日(月) 鯨城会代議員会(渡辺会長・余語委員)
- 2月 6日(水) 役員会
- 3月 10日(月) 幹事会(酒井幹事)
- 3月 12日(水) 役員会
- 3月 21日(木) 社協評議委員会議(渡辺会長)

* 行事

- 1月 16日(水) 上野天満宮新春初詣・揚輝荘見学
- 1月 19日(土) 銭太鼓同好会発表会(区役所講堂)
- 1月 23日(水) クリーンパートナー
- 2月 1日(金) 昭和区民のつどい パネルディスカッション(区役所講堂)
- 2月 12日(火) 大須演芸場観劇
- 2月 27日(水) クリーンパートナー
- 2月 28日(木) 鯨城会公開講演会(鯨城ホール)
- 3月 12日(水) クリーンパートナー
- 3月 14日(金) 瀬戸焼きものの里散策

その他

3月上旬 昭和こじょう会便り 配布

★ 平成 20 年度クリーンパートナー日程

4月	23日	10月	22日
5月	28日	11月	26日
6月	25日	12月	10日
7月	23日	1月	28日
8月	27日	2月	25日
9月	24日	3月	11日

いずれも水曜日、荒畑～御器所間、10時から

★ 土鈴つくり予定

4月	25日(金)
5月	9日(金)
	22日(木)
6月	6日(金)
	19日(木)
7月	11日(金)

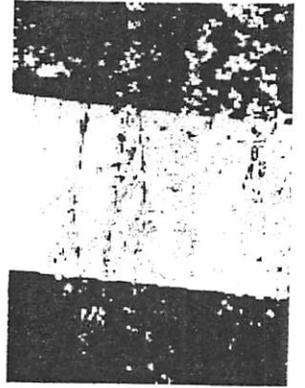
ライトハウス、13時から

4月～6月の行事予定

香積院しだれ桜 と 杵中八重桜

- 日 時 : 4月13日(日)
- 集合場所 : 地下鉄鶴舞線「いりなか駅」改札口
- 集合時間 : 午前9時50分 10時出発

散策コース : いりなか駅→香積院(しだれ桜・観音堂天井画・ふれあい観音)→杵中→南山教会前→八重桜並木・檀溪橋(解散)



新緑の八事山を歩く (昭和区役所主催) (火・祝)

- 日 時 : 4月29日(月・祝)
- 集合場所 : 興正寺公園内(興正寺駐車場北)
地下鉄鶴舞線「八事駅」1番出口
- 集合時間 : 午前10時30分

散策コース : 約3.5km、所要時間約40分

ゆとりーとバスで行く東谷山 と アサヒビール

- 日 時 : 5月20日(火)
- 集合場所 : ゆとりーとバス(ガイドウェイバス)大曾根駅乗り場(2階)改札口
- 集合時間 : 午前9時30分集合後 バスに乗車

コース : 大曾根からガイドウェイバス→小幡緑地下車(ガイドウェイバス本社見学)→ガイドウェイバス(乗り継ぎ)送迎バス(往復、無料)で東谷山→東谷山散策→帰途川宮下車→徒歩10分アサヒビール工場見学・試飲→川宮 ガイドウェイバスで大曾根(解散)



古川美術館 と 為三郎記念館見学

- 日 時 : 6月7日(土)
- 集合場所 : 地下鉄東山線「池下駅」
西改札口
- 集合時間 : 午前9時50分 10時出発

コース :
池下駅→古川美術館→
為三郎記念館

徳川園と徳川美術館を訪ねて

17期（陶芸） 小川 幾敏

今年は「源氏物語」が書かれてから一千年になるという。千年の輝き「国宝源氏物語絵巻と平成復元模写」特別展が、新館開館 20 周年を記念して徳川美術館で開催されていた。

昭和鯉城会の 12 月の行事が徳川園と美術館の見学ということで、是非この機会を逃さないように参加した。当日は穏やかな小春日和で、一行 16 名中に二組のご夫婦も参加され、和気藹々の見学会となった。

先ず徳川園。二代藩主徳川光友が築いたといわれる池泉回遊式庭園は、当時 13 万坪の広大なもので、中ほどにある池に 16 挺立の舟を浮かべて楽しんだといわれる。今もその面影が僅かに残り、庭園全体に趣を添えている。会員の中には童心にかえり、手を叩きながら池の鯉と戯れている人もいた。初冬の柔らかい陽射しを浴び、残り葉となった紅葉を楽しみながら庭園をそれぞれに散策しました。



鯉と戯れる

続いて本日のメインである美術館へ足を運ぶ。ここからは鑑賞の好みもあり、それぞれが自由行動となる。徳川家はやはり武家である。各展示室には武家のシンボル——武具・刀剣、武家の式楽——能、あるいは雅びなど戦国から江戸時代に至る武家の生活のいろいろが見られる。また、大名の雅び——奥道具——の展示室では、御三家筆頭の大大名の豊かさの一端が覗かれる。蒔絵乱箱・霊仙院千代姫（光友夫人）所用[国宝]や鎌倉時代の蒔絵手箱[重文]など。

さて、「源氏物語絵巻と平成復元模写」特別展。高精細のデジタル技術を駆使し、出来る限り原本と同一素材、同一技法で製作するという基本理念のもと、専門家に画家も加わり復元模写事業が推進された。平成 11 年から 7 年の歳月が費やされたという。実に鮮やかな絵巻が再現した。「柏木(三)」の緑と青と朱を基調とした絵は目を見張るような美しさである。現存する国宝の原本が、嘗てこのように美しいものであったとは……。

この絵巻(勿論写本だが)を傍らにおいて源氏物語を読めば、さしもの世界最大の長編古典小説も読破できるかな……と思いながら
帰途についた。

最後に紫式部にも登場願ひましょう。
「廻り逢ひて 見しやそれともわかぬ間
に 雲がくれにし 夜半の月かな」



源氏物語絵巻

天満宮と揚輝荘

18期 (美術) 後藤 昇三

当日はかなり冷え込んだ朝でしたが、27名という大勢の人が集まり散策に出かけました。

天満宮は学問の神様と言われるだけあって、入試の合格祈願の絵馬が沢山奉納されたり、達磨のおみくじが牛の台座に所狭しと置いてあったりで、まだお正月の雰囲気が残っていました。一番数の出るのは、合格に掛けた五角形の鉛筆だそうです。

初めて神閣で目にしたのは、お札所に白装束に身を固めた巫女ならぬ青い目の巫男で、外国の青年です。聞くとヨーロッパはオーストリアの人で20歳のイケメンの若者です。流暢な日本語を喋り、昨年从天満宮で修業をしているとのことでした。国際化もここまで来たかとの思いでした。

上野天満宮は、千種区清明山に在ったのを江戸時代に現在の地に移し、今日に至っている由緒ある宮社です。今から47年前に氏子の浄財で神殿を鉄筋建てに建て替えたのです。落慶式の稚児行列に私の二男が参列したのを憶えています。それにしても遠い昔のことで、自分が如何に齢を重ねた老人かと、ここへ来る度に思います。また、鳥居に家内の祖父の名前が刻まれているのを見ると、先祖詣りをしているような気がします。

今回揚輝荘見学に参加した目的は、61年前にここを訪れたことがあり、その後どうなっているかこの目で確かめたかったからです。それは、伊藤家17代の現当主伊藤洋太郎氏は、私と中学が一緒で同じクラス・同じクラブでした。その洋太郎氏に5~6名連れられて、鬱蒼とした森の中の大きい玄関をくぐり、部屋に通されてクッキーと紅茶を口にしました。生まれて初めて味わった味覚だったのを憶えています。60年も過ぎると、それがどの建物だったのか、建屋の前に立っても思い出すことが出来ませんでした。ガイドさんに聞くと洋太郎氏は今病氣療養中とのことで、一日も早く元気になられることを願っています。

ガイドさんの説明では、90年前の1918年、ここ1万坪の土地に伊藤財閥が有り余る金で贅の限りを尽くして木造家屋を移築したり、新築したりして揚輝荘が完成したのです。戦前・戦中・戦後の三時代に亘り、要人の社交の場として栄枯盛衰の歴史が残されています。伊藤家のマンションを除いた部分が名古屋市に寄贈され、これからは市民の公園として整備されて開放されます。庭園は大きな常緑樹を間引きして地面に陽が当たるようにし、四季を通じて楽しめる花木の樹を増やしていくようです。

揚輝荘の森に入って想ったのは、あの60年前の時代は生きること、喰うことで他に考えることがなかったような気がします。魚の骨も炙って食べて生ゴミゼロの庶民の生活でした。貧富の格差なしの貧乏人ばかりでしたが、今のように心が荒廃した目をそむけるような事件・事故は皆無でした。100年も続かない揚輝荘の歴史をみると、富は栄えても必ず賞味期限があるのだと思ってしまいました。私としては三度の飯が食べられて、寝床があって、それにちょっと贅沢して回転寿司で家族が団欒出来れば最高の幸せな人生だと思います。

それには先ずは健康です。健康を維持するには自分の好きなことを金をかけずに目一杯やることです。皆さんもいろいろやっておられると思いますが、私は隣の家にいる2歳の三ツ子ちゃんの孫守りと、絵と書を楽しんでいます。昭鯨会の99%の爺さん婆さんが経験出来ない三ツ子の成長に直接携わっていることです。三ツ子ちゃんは三人三様で実に面白くて楽しいものです。反面苦労も多いですが……。

皆様の健康をお祈りします。



見学中の会員



天満宮で

皆でつくり、共に喜んだ昭和鯨城会協賛

「銭太鼓同好会発表会」を終えて

19期（福祉） 総務委員長 余語 司郎

舞台上「河内おとこ節」の銭太鼓演奏をバックに、出演者・観客ともに民謡踊りを行ない、喜びに満ちた笑顔で発表会を終えることが出来、協賛者として大変喜ばしいことでした。

1月19日（土）朝9時から、銭太鼓同好会と昭和鯨城会の役員は、舞台・更衣室・座席・会場までの誘導案内等の準備をしました。初めてのことでありましたが、実施案に従ってスムーズに作業を済ませることが出来ました。

去年は守山生涯学習センター体育館で、第一回の銭太鼓同好会の発表会が行なわれました。しかし会場が遠く、交通がやや不便なこともあり、今回は市内で交通の便もよい昭和区役所講堂が候補となり、割安に借りられることも判って、銭太鼓同好会責任者の松井さんの了解のもと、昭和鯨城会役員会にも諮り、他でも活動しておられる方々も含めてこの度の発表会が実現しました。当日の司会進行役の17期の松井さんは、学園文化祭で銭太鼓を発表され、その虜になった方々を指導されて現在に至っています。

当日12時から開演。松井さん司会のもと昭和鯨城会渡辺会長の歓迎の挨拶を皮切りに、6年前に設立された同好会男性による力強い演奏が講堂一杯に響き渡りました。今までにドリーム会や万博会場等でも演奏された力量の素晴らしさが観客に伝わりました。

その後、昭和鯨城会9期の栗田さんのハーモニカ演奏、20期荒木さんの独唱も添えての演奏に、会場の皆さんも栗田さん手書きの歌詞を見ながら口ずさみました。

他の銭太鼓の演奏の合間には、20期長谷川さんのマジックショー、17期中西さん代表の手話コーラス、17期片山さん代表の民謡、19期谷口さん代表のフラダンスの各グループが、それぞれの得意の技を華麗に演じられ、観客からも掛け声がかかるなど大いに楽しんでいただきました。

18期の市之瀬さんには、演技中のスナップ写真を数々撮っていただき、有難うございました。

発表会では特技や趣味を仲間と共に深めると同時に、観客に対しても何かをやるという意欲を喚起することに繋がるのではないのでしょうか？ 今後21期の新会員も交え、機会を捉えて各施設での発表会や慰問活動を広めたいものです。

諸行事は決して役員だけのことでなく、会員の多くが参加して交流を深め合いたいものです。一例として、御器所～荒畑間歩道の清掃活動・各学区の公園清掃活動・荒畑駅近くのNo.9花壇や鶴舞公園花壇（鯨城会受託）の管理等は、会員相互が触れ合える機会ではないでしょうか？ 区の福祉まつりや区民まつりで提供している土鈴づくりは数が要ります。多くの方の参加が望まれます。格好の会員相互の触れ合いの場ともなります。その他まちなみ案内人の需要も盛んです。共に特技を発揮して喜び合える機会を増やしましょう。



銭太鼓演奏風景

19期(福祉) 伊藤 敬子



10月の中頃、お友達に「北アフリカのチュニジアに行きましょう」と誘われて、初めてチュニジアという国を知りました。その国の歴史をある程度調べましたが、まだまだ日本では多くの人に知られていない日本の半分ほどの面積で、地中海に面した小さな国です。このチュニジアに世界遺産が8つもあると聞かされ、正直びっくり!! いよいよ出発の日です。大きなトラックをガラガラと引っ張りながら中部国際空港に向かう。大柄で屈託のない添乗員さんに安心してつツセントレア最終便のエミレーツ航空315便に搭

乗! さあ! アラブ首長国連邦ドバイに向けて長い旅の始まりです。12時間ものフライトに耐え抜きドバイに到着。手荷物検査を済ませ、更に乗り換えて6時間30分、やっとチュニスに到着です。チュニジアって本当に遠い国だなあ~!

早速に世界遺産であるメディナ(旧市街)へ、多くの人で賑わうスークには帽子、香水、貴金属など沢山の店がひしめき合っていました。次の日、カイルアン観光です。北アフリカで最も古いモスク、グランドモスクへ31mのミナレットが、青い空に映えてとても美しい。次はローマ遺跡のあるスベイトラへ、車窓から一面のオリーブ畑を横目に見ながら……途中ラクダのハーレムに遭遇、一頭のオスが50頭のメスを従えるそうです。人間の世界ではありえないことだなあ~と感心しつつ……ホテルへ到着。

今日は4時半起きです。イスラム教徒が運転するトヨタ四輪駆動車に乗り込み、デコボコ道を1時間位かけて走り、ジャメル砂丘で見事な太陽を拝みました。近くには荒涼とした景色の中、映画で見たあのスターウォーズのセットがそのまま残っており、セット内を見学した後、山岳オアシスへと向かいます。シェビカの村では、砂漠から湧き出る大切な水源を見学し、ミデスでは「イングリッシュペイシェント」の撮影が行なわれたキャニオンがあり、直ぐ近くにはアルジェリアとの国境が目の前にありました。サハラ砂漠では友と二人で「月の砂漠」を合唱し、現地ガイドに「ラクダの背で歌う人達は初めてだ」と言われる。感動!! 一生忘れられない思い出です。トズールに戻り、サハラ動物園へ。砂漠に住む狐、ヘビ、サソリ、コココーラを飲むラクダ等を見学の後大塩湖へと向かう。昔は一面海だったとか。砂と塩の入り混じった景色を延々と見ながら……ホテルへ到着。

今日はベルベル人が多く生活をしている穴倉式住居の見学です。マトマタでは、穴倉式住居ホテルでベルベル人の主食「クスクス」の昼食でしたが、意外とおいしい食べ物でした。さあ~次はエルジェム町へ。一番興味を持ったのが円形闘技場「コロセウム」です。剣闘士と猛獣の戦いの場で、当時市民の最大の娯楽場であった闘技場を見て、本当に残酷な戦いをさせたものだと胸が痛みました。地中海を前にしたホテルへ到着。

ホテルを出発してチュニスに向かう途中、「水道橋」を見学。ザグーアンの山から80キロも離れたカルタゴに水を送るために作られたローマの水道橋、それは見事なものでした。機械もない時代に緻密な計算を施した当時のローマ人には敬服です。バスでチュニスに向かう途中、日本企業がチュニス湖に橋をかける工事をしており、現地ガイドの話ではまだチュニジアの技術では橋が作れないとのこと。日本人の技術は世界に通用することを目の当たりに見る。

次の日はブラレジアのローマ遺跡の見学。この遺跡は暑い夏を快適に過ごすために地下に贅沢なモザイクを施した住居が作られており、当時のお金持ちの贅沢さにはただ々驚かされるばかりです。さらにもう一つのローマ遺跡へとバスは走り、ドゥガのローマ遺跡を見学。高台に作られた遺跡は3500人も入れる劇場、大浴場など々々。ここも保存状態のよい素晴らしい遺跡。古代ローマ人のスケールの大きさには驚きの連続です。

次の日はカルタゴ遺跡を見学し、いよいよ私達が待ち望んでいたチュニジアンブルーが美しいシディブーサイドを、可愛らしいバスに乗って町並みをトコトコと走り回りました。感激!!

最後はモザイクの宝庫であるバルドー美術館を見学。あまりの美しさに目を見張るばかり。世界遺産の豊富な素晴らしい国でした。チャンスがあったら又行きたいなあ~



太極拳をやりませんか！

17期（文化B） 神田 史郎
（広路学区）

飯田街道を東に上ると川原神社があります。境内が広く本殿の周辺には大木が鬱蒼と茂っています。その木々の間からゆったりとしたメロディーが流れて来る。それに合わせ数十人の善男善女が体を動かしています。そうです！ 太極拳をしているのです。今から十数年前、数人で始まった太極拳が、今では30人を超える盛況ぶりです。年配者には最適の、ゆったりとした動きが人気を呼んでいるのですね。

雨天でない限り、毎朝7時から始まります。勿論12月31日大晦日でも、また新年でも実施しています。内容は三段階に分かれています。第一段は八段錦と24式太極拳(25分前後)、第二段は水平足踏み300回→脚力の強化(5分前後)、第三段は錬功十八法前段(10分前後)。自分の時間の都合と体力に応じて何段まで参加するかは自己判断で決めれば良いのです。実際には三段全部参加する人は半数くらいです。



太極拳を楽しむ人びと

この会の最も素晴らしいことは「自由」でしょうか。いつ入ってもいつ辞めても構わない、どの段階から始めてもよい、会費は無し。こんなに自由にしても参加者はきちっと自己規制され、節度のある行動をとられています。一旦参加されると辞める方は少なく、大半の人は継続されます。昨年5月の高年大学太極拳同好会(鯨城OB)主催で中国に行き、日中太極拳交流会を広州で開いたのですが、それに是非参加させてほしいと熱望される会員がありました。幸い欠員があったので78歳のA氏が喜んで参加されました。

太極拳などによる健康体操としての効用を述べれば：

- ★ 太極拳の直接的効用として、①八段錦により深長呼吸を訓練して気血の流れをよくする、②太極拳でバランス感覚を身に付ける、③水平足踏みで脚力を鍛錬する、④錬功十八法で頸・肩・腰・腿痛疾病の予防を図る。
- ★ 毎朝7時から健康体操に参加することで一日の出発点が決定され、規律ある日課が決まる。また早朝の行事なので、これに参加されても他行事に影響を与えることが少ない。
- ★ 人が集まれば会話も弾む。様々な情報の交換も出来る。実際に毎日曜日、近くの喫茶店に行き、モーニングサービスを受けながら談笑するグループもある。
- ★ 一年に一回の食事会。今年は今池ガスビル8階の「ガス灯」で薬膳料理を食べた。これもまた愉しからずや。



昭和鯨城会の皆さん、全員川原神社に集合！ 皆で太極拳をやりましょう。現在昭和鯨城会員4名が参加しています。

皆さんボランティア活動をされていますか？

19期（国際） 池村 俊幸

昭和鯨城会会員によるボランティア活動も各学区で根付き、地域の皆様方に感謝されております。今回紹介するのは“なごやかハウス福原”（伊勝学区）での庭木の手入れです。これも早や2年続けており、皆様方に喜ばれております。

これからも学区の皆さん及び園芸科ご出身の方の協力を得て継続していきたいと思っております。

昭和鯨城会の皆様方におかれましては、今後とも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。



庭木の剪定

施設は緑豊かな住宅地の真中にあります。こうした地域の雰囲気にもマッチするように、施設の建物はデザインにも配慮し、庭のスペースもゆったりととってあります。この庭には沢山の樹木と草花が植えられており、年中緑と草花に囲まれています。この庭木と草花の手入れには地域のボランティアのみなさんにお世話になっております。

このたび昭和鯨城会のみなさんが、秋の庭木の手入れに来てくださいました。みなさんは高齢者の生きがいと地域活動の核となる人材を養成する「高年大学鯨城学園」の卒業生で、園芸学科で庭木の知識と剪定などを学んだベテランの方をリーダーとして、作業をしてくださいました。

昨年もお世話になりましたが、樹木の成長は早いもので、しっかりと伸びた枝を払い、形が崩れた垣根の高さをそろえる作業を2日間にわたって行なっていただきました。幸い2日とも小春日和に恵まれ暖かい陽射しの中で無事作業を終えることができました。ありがとうございました。（11月19～20日）

なごやかハウス福原のホームページ記事(2007.11.25)

ホームページアドレスは <http://business1.plala.or.jp/fukuhara/>

昭和鯉城リズム体操クラブ

クラブ代表 14期(園芸) 近藤 勇雄

平成 20 年に入り、今年も明るく楽しいクラブ活動が続けるよう努力したいと思っております。新年初練習の 1 月 9 日には会員 101 名と過去最高の出席者で、会員各位のリズム体操に対する熱意を感じて喜んでおります。

さて当面のご報告は二つあります。一つ目は、平成 20 年度上期の練習日が確定したことです。ご承知のように会場確保は年を追うごとに厳しさを増し、当クラブも今回初めて昭和スポーツセンター以外の会場で練習しなければならないことになりました。8 月 6 日と 20 日の 2 回です。しかしこれで月 4 回、上期で 24 回の練習日を確保できました。

二つ目は、2 月 24 日、愛知県体育館で、体操協会主催の体操発表会に出場したことです。当クラブは、平成 17 年に出場して会長賞を頂きましたが、今回は 2 回目の出場で、昭和・千種の合同チーム 120 名が西川先生のご指導で風呂敷体操を発表し、今回も入賞！

「元気はつらつ賞」を受賞することが出来ました。皆様のご声援を感謝しています。

平成 20 年度上期の練習日

4 月	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
5 月	7 日	14 日	21 日	28 日	
6 月	4 日	11 日	—	25 日	
7 月	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
8 月	6 日千種	—	20 日千種	27 日	
9 月	3 日	10 日	17 日	24 日	

2 月 24 日(日) 愛知県体育館 昭和・千種合同チーム風呂敷体操 入賞



グラウンドゴルフクラブニュース

17期 (文化) 永田 祐千



平成 20 年度 グラウンドゴルフ開催日

平成 20 年度グラウンドゴルフの開催予定は下記のとおりです。

身も心も健康で生き甲斐を持ち、毎日を楽しく過ごすため、
グラウンドゴルフは手軽なスポーツです。ご参加下さい。

- プレーは：毎週火曜日、10時から、2ラウンド(約1時間)。
- お休みは：1月と8月、雨天の場合及び第5火曜日はお休みします。
- 場 所は：名古屋高速 高架下 吹上ミニスポーツ広場(イオン千種南)。

年間日程表

	第1火曜日	第2火曜日	第3火曜日	第4火曜日
20年 4月	1日	8日	15日	22日
5月	6日	13日	20日	27日
6月	3日	10日	17日	24日
7月	1日	8日	15日	22日
8月	休み			
9月	2日	9日	16日	30日振替
10月	7日	14日	21日	28日
11月	4日	11日	18日	25日
12月	2日	9日	16日	23日休み
21年 1月	休み			
2月	3日	10日	17日	24日
3月	3日	10日	17日	24日

9月23日は祭日休み

競技場(名古屋高速 高架下広場)周辺案内図



昭和区の名所

十七期（環境） 石橋 政雄

川原神社

我が家では、元日に氏神様の川原神社へ初詣に行く。宮司は女の人である。

幼な見に引かれて弾む初詣

山崎川

山崎川の桜は石川橋より下流に集中しているが、我が家より上流にも百十本ほどの桜並木があり、穴場である。

花筏夜来の雨に濡れ果て

興正寺

殆ど人の手の入っていない自然林では、野鳥たちの楽園となっている。

斬しき菜箱の口の小さかり

南山教会

南山学園の中心となっているカトリックの教会である。

教会の鐘鳴り出づる白つづ

鶴舞公園

ここは四季を通じて花が咲いているが、私は雨の紫陽花が好きである。

紫陽花の道短きを惜しみけり

香積院

毎年除夜の鐘つきが行なわれている。

鐘樓の撞木の揺れや夏涼し

川名公園

将来的に災害時における避難場所として整備が進められている。

遂上がり習ふや蟬に励まされ

桑山美術館

昭和五十四年に桑山清一氏によって設立されたもので、私が行った時は切絵展を開いていた。

泳の日の彼岸やける切絵展

名大病院

空から見ると鶴が翼を広げ、大空に向つて飛び立つ様で目出度い形である。そのお陰か、私は四年半前にここで肺ガンの手術を受け、現在生き永らえている。

病棟の明かり懐かし秋の暮

興正寺

毎年十月の第三土曜日に「千燈供養会」が行なわれ、東海の火祭りが見られる。

大護摩の弾ける音や柿紅葉

竜興寺

昭和五十年に実業家藤山雷太氏の旧邸（東京芝白金台の迎賓館）を移築している。

柿群るる庭に雷太の観月堂

南山大学人類学博物館

もと々々人類学研究所の陳列室として出発したが、昭和五十四年に独立して博物館となり、一般に公開されている。

黄昏の博物館や葛紅葉

尾陽神社

尾張藩祖義直と十四代慶勝を祀る社で、もともと佐久間家勝が築城した「御器所西城」の跡と云われている。

坂跡の飛び石伝ふ落葉かな

興正寺

毎月五日と十三日には「七月参り」が行なわれる。七ヶ月続けてこの日に参詣すると、大願が成就すると云うもの。参道には市が開かれる。

山門にストーブ圍む朝の市



俳句

十六期（文化） 柴田 鈴子

老いの坂 一步一步の去年今年

裸木のこぶは明日への力なり

梓川鴨遊びるる焼岳^{やけ}徳高

冬天を切りさき一棧消えゆける

梵鐘の一打ひろがる冬の月

陽と波と風のはこびし岩の海苔

ふる里の風の匂ひの大根煮る

冬火花屋台の鍋の湯気匂ふ

傘寿いま迎へながらに春を逝く

お通路ののど飴廻るバスの旅

短歌 健やかに

十八期（生活） 木村 恒

体調は如何ですかと文を書く

「休みます」との電話をうけて

神さまの決めた命は生きねばと

老いたる母はリハビリに励む

春うらら傘寿の席で茶を点てる

主の背すじきりつと伸びて

静かなる民家の庭に根をはりて

気高く咲くは古き石楠花

地下鉄を降りてさがすエレベーター

ひざの痛みをやわらげようと

掲示板

昭和鯉城会 20 年度総会の開催

日 時： 4月11日(金) 10時開会
場 所： 昭和区役所 2階講堂
アトラクション： 今井 清 主宰 東海マジシャンズクラブマジックショー

ニ
ュ
ー
ス

☆ 新入会員 26 名

2月20日、区役所6階会議室で、21期生の入会手続きの会を開きました。その結果26名の入会者があり、役員を決めるとともに今年度からは全員がいずれかの委員会に属するように決め、全員参加で会の運営に当たる態勢づくりを促進したいと考えています。

☆ リズム体操クラブ「健康のための体操発表会」で入賞

2月24日、愛知県体育館で行なわれた「発表会」で、昭和・千種合同リズム体操チームが「元気はつらつ賞」を受賞しました。

編集後記

温暖化がしきりに言われていますがやはり冬は冬、厳しい寒さも続きました。でも「冬来たりなば春遠からじ」です。梅の開花も耳にする時期になりました。4月には26名の、今年卒業の21期生の皆さんが新会員として入会されます。会の運営も20期生と21期生とで担当することになります。

これまでご活躍だった19期生をはじめ先輩方には、いろいろご指導いただいたことに感謝申し上げます。

先輩方も含め、会員の皆様にはこれからもご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

昭和鯉城会会報「昭和こじょう会便り」51号



発行責任者： 渡辺 信良
編集委員： 市川 賢 八神 邦子
中林 ハル子 伊藤 敬子
富田 紘八郎 村上 洋三
森 セツ子 渡辺 晴朗